



横浜市立岡村小学校・学校だより R3.5.31 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

幸せでありますよう

副校長 船山 道太

横浜市における「まん延防止等重点措置」の期間延長に伴い、4学年の上郷宿泊体験学習を延期せざるを得なくなったことをはじめとして、当面の学校行事の見直しを図ることになりました。その間も、子どもたちが、少しでも安心して学校に通えるよう、また、引き続き子どもたちの学びを止めないためにも、感染症拡大防止に向けての取組を再度徹底してまいります。今後も、ご協力をお願いいたします。

さて、5月14日に3学年の遠足が実施されました。学校から根岸森林公園までの道のりは、遠く、多くの分岐点があります。また、一般道を利用するため、交通安全の意識を高める必要があり、3学年の子どもにとってはハードルの高い活動と言えます。それを支えてくださったのは、保護者ボランティアの皆様でした。そっと、そして確かに見守られる中、子どもたちは、仲睦まじく目的地を目指して歩きました。到着後は、野原を駆け回り、グループで事前に決めてきた遊びに夢中になっていました。お昼の時間、私と教務主任の生田教諭が、お弁当を食べている子どもたちの様子を少し遠めに眺めていました。私たちの近くを通りかかった女性二人が、「あら、外でも あんなに 離れて 食べているのね。」と会話をしているのが聞こえてきました。しかも、大草原で、シーンと、黙々と食べている。学校の外でも、新しい生活様式を実践している子どもたちの様子に感心している声が聞けて嬉しくなりました。



ある日の放課後に二人の子どもが保健室を訪れました。下校途中に一人が転んでしまい、怪我をしてしまったようでした。二人は学校の保健室に戻ることを決め、怪我をした子はお友達に付き添われて戻ってきたのでした。この二人、幸せだなと感じました。怪我はしたけれども、なんか安心している。付き添った子も助けたことで、安心している。こうして助け合って生きていくことをだれかに学び、実践しているのだなど、嬉しく思いました。

今年度も、重点研究の授業公開が始まりました。第1回目の5月25日、体育館では4年1組がマット運動の学習を、校庭では5年1組が陸上運動のリレーの学習をしていました。4年生は、技の精度を上げるために、ペアになって動画で互いの動きを見合い、教え合っていました。何度も何度も繰り返す。子どもたちは、自分で立てた自分にあつためあてを達成するんだと、心に決めて目の前のことに熱心に取り組んでいる。まさに今を生きている、幸せそうに見えました。5年生は、次こそは自分たちのチームのベストを更新しようと、計測後、自然と輪になって、知恵を出し合っていました。また、チームで約束事を決めレースに臨み、もっている力を全部出し切るんだという気迫のようなものが伝わってきました。他のチームとのレースで、たとえ相当な距離を開けられる展開になろうとも、ゴールする最後の一步まで力を抜かず、走り切る。あれだけ離されたら、普通であれば手を抜くだろうという場面、一生懸命に走り切ってみせる。思いや願いをもって学ぶ、向上心をもって取り組む、一生懸命な姿は、美しく、見る者の心を洗うかのようでした。

ここ岡村の学校生活のほんの一部を紹介させていただきました。日常的に、子どもたちのよさをよく目にします。次回は、これからの教育課程の在り方について、発信してみたいと考えています。ありがとうございます。